



函中だより

雄々しく 気高く

学校教育目標

夢や希望の実現に向けて 共に高め合う生徒

函南町立函南中学校  
令和2年 11月9日発行  
文責 若月 哲也

## 読書の秋です！

灯火親しむの候 (とうかしたしむのこう)

晩秋の「時候のあいさつ」として、よく使われる言葉です。秋の夜長は、灯 (あかり) の下で読書をするのにぴったりであることを表しています。「読書の秋」という語は、この言葉が由来となって生まれたとされています。

ところで、生活環境の変化やメディアの発達などを理由に、日本人の読書離れが指摘されています。特に、若者の読書離れは、深刻な問題です。『平成30年度 国語に関する世論調査 (文化庁)』の結果によると、「1か月に1冊も本を読まない」と回答した人は、全体の47.3%を占めています。さらに、「読書量が減っている」と答えた人は、全体の67.3%という結果となり、過去の調査結果と比べても増加傾向にあります。さて、函中生の実態はというと……、『令和元年度 全国学力・学習状況調査』の質問紙調査において、全体の33.8%の生徒が「読書が (あまり) 好きではない」と回答しています。読書への関心は、決して高いとは言えません。



子どもたちの読書離れの背景として、学習塾や習い事による時間的な余裕の無さ、ゲームやSNSといった余暇の過ごし方の変化などが考えられます。限られた時間の中で、子どもたちが読書の楽しさを味わえるようなきっかけをつくる必要があります。

学校では、朝読書を日課に位置づけています。毎朝 8:00になると、図書委員の呼びかけで読書の時間が始まります。学校は、次第に静かな雰囲気になっていきます。この落ち着いた時間を共有することで、1日のエネルギーが充填されるようにも感じています。また、感染防止の観点から開催を見合わせていた「読み聞かせ」も、10月から再開しています。ボランティアの皆様には、フェイスシールドやマスクの着用をお願いしているため、やりにくさもあるかと思えます。しかしながら、感情を込め、声色を使い分けた朗読で子どもたちを物語の世界へ引き込んでいきます。子どもたちの真剣な表情が印象的です。

函南町は「読書のまち・かんなみ」を宣言し、町ぐるみで読書に親しむ環境づくりを勧めています。町制55周年記念、および知恵の和館開館5周年の記念に「読書記録ノート」を作成し、子どもたちに配付しています。大人版の「読書記録ノート」も、図書館のHPからダウンロードが可能です。この機会に、親子で……、家族で……、「灯火親しむ」時間をつくってみてはいかがでしょうか。



## 授業参観週間へのご協力ありがとうございます！

10月末から、学年別に授業参観週間を設定しています。「密」を避けるため、マスクの着用や手指消毒、廊下からの参観など、ご不便をおかけしており、恐縮しています。しかしながら、今年度初めての授業参観とあって、平日にもかかわらず本当に多くの保護者の皆様にご参観いただいています。お陰様で、子どもたちも適度な緊張感を保ちながら、張り切って授業に参加することができています。学校としても、とてもありがたく感じています。



今週は、3年生の参観週間です。【12日（木）まで】最上級生として、受験生として、目標の実現に向けてじっくりと授業に臨む姿をぜひご参観ください。3学期にも、今回と同様の学年別授業参観を予定しています。詳細は、追ってご案内いたします。

## 函南町教育研究会が開催されました！



10月29日（木）に、本校を会場に「函南町教育研究会」が開催されました。当日は、町内幼稚園・保育園、そして小学校等から教育関係者125名が集まり、5時間目の全クラスの授業を参観しました。感染防止のため、こちらでもマスク着用と廊下からの参観をお願いするとともに、校種別に参観フロアを分けるなどして密を避ける工夫をしました。子どもたちにとって、お世話になった先生方との再会には、新鮮な感動があったようです。

以下、参観された先生方のアンケートの一部（抜粋）です。

- ・子どもたちが明るくあいさつをしてくれて、とてもうれしかったです。先生方の日頃の温かい指導があるからこそ感じました。3分前行動や黙想等、6年生に様子を伝えていきながら、スムーズに中学校につながるようにしていきたいと思います。
- ・全体的に落ち着いて学習に臨む雰囲気が感じられ、安心しました。友達と自然な話し合いができており、先生とのやりとりも活発に行われていました。
- ・子どもたちが生き生きと活動する姿が印象的でした。よりよい表現を求めてお互いにアドバイスし合う姿や、仲間の発表に対する自然な拍手など、よい雰囲気でした。

## 善行表彰～みんなのためにがんばりました～

前期を振り返って、函南中学校善行賞が決定し、前期生徒会広報委員会（委員長）から表彰されました。被表彰者は、各クラスから1名ずつ互選によって（1人が3名に投票し、最も票を集めた人を）選出します。その内容も、「委員会や係活動への積極的な取り組み」「環境美化への模範的な取り組み」「ボランティア活動への率先した参加」など、多岐に渡ります。後日、受賞した15名が校長室を訪れ、校長先生から称揚されました。

以下は、受賞者の一覧です。

■■■ さん③	■■■ さん②	■■■ さん①
■■■ さん③	■■■ さん②	■■■ さん①
■■■ さん③	■■■ さん②	■■■ さん①
■■■ さん③	■■■ さん②	■■■ さん①
■■■ さん③	■■■ さん②	■■■ さん①



### 【厚着のすすめ】

寒さの厳しい時期を迎えます。学校では、感染防止の観点から、冬季も積極的な換気を励行します。エアコンも使用しつつ、子どもたちには厚着で対処することをすすめています。基本は、インナーを着込む形での対応になります。また、生活委員会を通じて共通理解を図っていきます。ご承知おきください。